

福岡県歯科保険医協会 学術講演会のご案内

『食べる』にこだわる高齢者への義歯治療 ～ 排列・試適時の重要ポイントについて～

講師 **鈴木 宏樹** 先生 (公立八女総合病院 歯科口腔外科)

日時 **12月21日(土) 18時～20時**

会場 **九州ビル9階** 福岡市博多区博多駅南1丁目8-31

参加費 **会員無料** ※未入会の先生は、この機会にぜひご入会ください。

【略歴】

2001年 3月 福岡歯科大学歯学部卒業
2010年 4月 医)井上会 篠栗病院 歯科医長
2021年 3月 九州大学大学院歯学府歯学専攻 卒業
博士(歯学)
2021年 4月 九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学
講座共同研究員
2023年 12月 公立八女総合病院歯科口腔外科 補綴担当
医)福和会 高齢者診療部部长

【所属学会・資格等】

日本顎咬合学会 指導医
日本有床義歯学会 指導医
日本老年歯科医学会 認定医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士
日本口腔ケア学会 評議員

【鈴木先生から】

「食べる」ためには様々な口腔機能が必要になります。

口腔機能を低下させないためには、やはり歯を失わないのが1番ですが、高齢期においては、様々な理由で歯を失うことが多いのが現実です。その欠損をわたしたちは義歯等の補綴治療を行うことで口腔機能の回復としてきました。しかしながら、実際に義歯が口腔内で機能しているかどうかを確認することは少なく、あまり機能しているとは言い難い義歯も多く見受けられます。

義歯が機能するということは「食べられる」、つまり「栄養がとれる」ということであり、それは患者の口腔機能だけでなく、QOL や ADL の回復にも大きな役割を果たすため、超高齢社会の現在において意義があり、非常に重要です。

食べられる義歯を作製するために非常に重要なことの1つに排列・試適時に行う機能的な確認事項があげられます。しかし、排列・試適時には何をすれば良いのかよく分からないけれど、そこを省いて義歯を完成させるのは少し怖いという声が多く聞かれます。排列・試適時は義歯完成前の最終過程であることから、行うべきことが多くあり、特に高齢者の場合は口腔機能に合わせた排列位置が重要であり、そこを疎かにすると義歯治療の失敗にも繋がりがかねません。

今回は義歯治療における排列・試適時に行うべきこと、確認すべきポイントやコツについてお話したいと思います。

👉 返信先 **FAX : 092-473-7182**

会員氏名:

※未入会の先生はご入会ください

医療機関名:

TEL:



健康保険で良い歯科医療をめざす

福岡県歯科保険医協会

福岡市博多区博多駅南1-2-3博多駅前第一ビル8F

TEL:092-473-5646